



▲市内出身の歌手、古田佳子さんは歌のメッセージとして、各地域に古くから伝わる民謡のほか、ダンス向けにアレンジした、「日光和楽踊り」など4曲を披露し、会場を盛り上げました。



◀世界の人々へ向けてのメッセージ。「市民一人一人が努力し、もう1度日光市へ来たいと思ってもらうことが大切。世界中から訪れてくれる人たちが、優しく、暖かい気持ちで迎えたい」と発表する「花の宿・松や」女将の臼井静江さん。



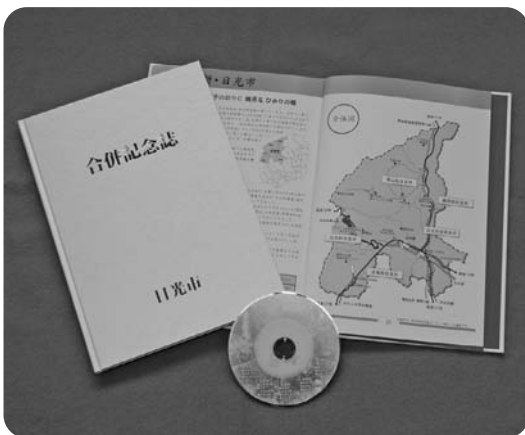
◀「市民の皆さんに『合併してよかった』と思ってもらえるよう、新市のめざす将来像、『四季の彩りに風薫るひかりの郷』の創造を目指し、全力でまちづくりに取り組みたい」と、式辞を述べた齋藤市長。



▲旧5市町村の首長と議長10名が、総務大臣より合併功労者表彰をうけました。



◀新市へのメッセージ。「旧5市町村の築いてきた伝統を引き継ぎ更に発展させ、新日光市を誇りに思える故郷にしてもらいたい。そして、自分たちも役に立っていきたい」と、発表する日光高等学校・日光明峰高等学校生徒会長、田中和基さん。



式典出席者に配布された合併記念誌。

記念誌には、旧5市町村の市町村章、市町村の花・木・鳥、市町村民憲章、各地域の見どころなどが掲載されています。

また付録のCDには、市町村民の歌やそれぞれの市町村で親しまれ、歌われてきた歌などを収録。旧5市町村の伝統を、後世に引き継ぎます。

なお記念誌は、市内の各図書館、各総合支所総務課で閲覧することができます。



▲今年3月20日、新日光市では3人のお子さんが誕生しました。「娘が生まれたその日が、新日光市の誕生と同じ日であるということは、とても喜ばしい」と、合併と同じ日に生まれたわが子へのメッセージを、3組の夫婦を代表して発表する根元光司・美佳夫妻。